



新入生を待つ教室と机 天板は県産のスギを使用（平塚市立相模小学校）

CONTENTS

森のニュース	令和元年台風19号災害の県内の復旧状況について P1
森林づくり活動 グループの広場	虫沢古道を守る会（松田町寄） P3
わが市わが町	中井町 P5
事務局便り	市町村林政アドバイザー ～三年間を振り返って～ P6

森のニュース

令和元年台風19号災害の県内の復旧状況について

1 はじめに

近年、地球温暖化の影響による自然災害が激甚化・頻発化しており、災害時の早期復旧や、予防的な対策などが求められています。

本県では令和元年10月12日の台風19号の影響により、箱根町で日雨量の国内最高を記録するなど、県内各地が大雨に見舞われ、死者9名の人的被害や、住宅の倒壊等が出るなど甚大な被害が発生したことは記憶に新しいことと思います。

県内の森林においても、林地被害や林道・治山施設被害などで計675箇所、被害総額は約52億円に上りましたが、今回はその復旧状況について、ご紹介します。

2 県内各地の森林の復旧状況

本県では、被災した林地や林道・治山施設について、集落周辺など緊急性の高い箇所を優先して復旧計画を策定し、国の災害復旧事業や県の単独事業により、順次復旧を進めてきました。

(1) 横浜川崎・横須賀地域

この地域では、計30箇所の被害が発生しました。横須賀市田浦大作町では、住宅裏の斜面が崩壊するなどの被害がありましたが、法枠工による復旧工事を行い、斜面の安定化を図りました。

(2) 県央地域

県央地域では、相模原市の相模湖で観測史上最高の雨量を記録するなど、県内で最も多い計376箇所の被害が発生しました。

相模原市緑区底沢では、斜面の崩壊により、付近の民家や林道の損壊がありましたが、斜面崩壊箇所の拡大防止と再度の被害を防ぐため、斜面上部を法枠工により復旧しました。

斜面の下部については、現在工事中ですが、今後も同様の工法により更なる安全性を確保していきます。

【相模原市緑区小原（底沢）】



崩壊斜面の状況



法枠工による復旧状況

【横須賀市田浦大作町】



崩壊斜面の状況



法枠工による復旧状況



(3) 湘南地域

湘南地域では、計 88 箇所の被害がありました。

秦野市の浅間山林道では、斜面崩壊により流出した土砂が、路体の一部やガードレールを損壊させるなど、林道施設にも被害が出て一時通行止めとなりましたが、被災した斜面の復旧と流出した土砂や倒木の撤去、林道施設の復旧等を行い、早期に通行を再開することができました。

(4) 県西地域

県西地域では、計 181 箇所の被害があり、降雨量が観測史上初の 1,000mm を超えた箱根町では、箱根登山鉄道沿線で土砂崩れにより、鉄道橋が流されるなどの大きな被害

が発生しました。この被害により、約 9 カ月の間、箱根登山鉄道が不通となるなど、町の観光にも大きな影響が出ました。

復旧に当たっては、県、鉄道関係者、箱根町、工事関係者などが作業を分担し、調整を図りながら、線路上部の森林の崩壊箇所については、治山事業で対応し、鉄道の開通を予定より前倒しすることができました。

また、箱根登山ケーブルカー早雲山駅近くの宿泊施設の裏山でも、斜面の崩壊が発生しましたが、コンクリート土留工や法枠工により山腹工事を行い、復旧を図りました。

3 おわりに

令和元年の台風災害から、2 年半

近くが経過しましたが、令和 3 年 7 月から 8 月にかけての豪雨の影響により、さらに別の箇所が被災するなど、復旧工事がなかなか進まない箇所も見られます。

被災された地域の方々には、ご不便をおかけしますが、県では、被災箇所の早期復旧に向けて全力で取り組んでいるところですので、今後ともご協力賜りますようお願いいたします。

(神奈川県環境農政局緑政部 森林再生課)



【秦野市蓑毛（浅間山林道）】



斜面崩壊による土砂流出



復旧状況

【足柄下郡箱根町宮ノ下】



斜面崩壊による鉄道橋の流出
(写真下が線路)



斜面上部は法枠工により復旧

【足柄下郡箱根町強羅】



崩壊斜面の状況



法枠工等による復旧状況



森林づくり活動グループの広場 虫沢古道を守る会

平成19年10月、松田町寄の虫沢地区に住む人達が酒の席で交わした「そこの山が良いという前にまずうち（虫沢）の山を整備しようじゃないか！」そんなちょっとした会話がきっかけとなって古道を調べてみようという話がまとまり、早速、同年12月から、昭和34年の舗装道路完成以来使用されなくなり、倒木等で荒れ果てていた虫沢古道（虫沢集落～第六天 約3.0km）や高松古道などを整備してきました。

平成21年9月27日には、有志7名で「虫沢古道を守る会」を結成し、明治初期までは山越えの生活道であった、虫沢地区のヒネゴ沢（橋）から山北町共和地区の八丁に至る約3.9kmの「はなじよろ道」（共和地

区から花嫁（はなじよろ）が通ったとされるロマンチックな由来があります。）を間伐材等を利用して整備してきました。

昔から使われていた道を探すのは中々大変で、けもの道など何本ものルートを何日か試行錯誤して歩き、やっと見つけ出すことができました。

平成22年4月16日、「はなじよろ道」のひととおりの整備がなされたことを画して、この道の開通式を行うことになりました。当日は、雨から季節外れの雪へと変わる、あいにくの空模様でしたが、松田町側と山北町側の両方から出発した参加者25名が「ヒネゴ沢乗越」で合流し、高松山山頂801.4mを目指しまし

た。

山頂は、10cmを超える雪で覆われ、一面銀世界となり、とても幻想的でまるで「はなじよろ道」の再開通を祝ってくれているかのようでした。この高松山もかつては小登山で人気のあった山でしたが戦後の植林事業がなされた後は、近在の山同様に管理が行き届かずの状態にありました。

山頂付近は、杉林に覆われるのみで、旧来の自然さが失われ、せっかくの富士山や箱根連山の眺望も樹木に阻まれて、訪ねるハイカーもまばらでした。

しかし、ここ数年来、山北町他山林業務機関による西側部分の伐採や、山下の虫沢地区の人々からの要望や働きかけもあり、東側山頂を覆う杉林の一部伐採等が行われ、丹沢山塊の一部も見られるようになりました。

晴れた日には、富士の雄大な裾野を始め、愛鷹山、越前岳、手前に目を移せば明星岳、明神岳、金時山、矢倉岳、大野山等の山々が一望できます。又、眼下には、まばゆいほどの「酒匂川」が相模湾の大海原に続くのが見渡せます。



はなじよろ道の橋

今日の高松山から見る富士山及び他の山々の素晴らしい眺望は、このような多くの人たちの努力によって成り立っています。

令和2年には、寄小学校に招かれ「虫沢古道」について、生徒さん達とお話する機会を頂きました。現在の寄小学校は、全校児童25名の小規模校ですが興味を持った生徒たちから「ぜひ、作業を手伝いたい」との申し出もあり、昨年11月下旬には、本会の作業に6年生4名が参加して頂きました。落ち葉拾いやハイキング道の水切り作業などを手伝って頂きました。



ハイカーのために水切りをする生徒たち



ハイカーのために水切りをする生徒たち

また、同年12月21日には、5～6年生の11名と付き添いの先生3名で高松山ハイキングを楽しみました。古道の会員も、万が一に備えて後方支援活動をさせて頂きました。

この日は、快晴に恵まれ富士の裾野まで見渡せる雄大な富士山に生徒たちは歓声を上げていました。

さて、少子高齢化の波は、この地にも押し寄せています。既に寄中学校も3年前に廃校となり、今後についても「寄幼稚園・寄小学校の

在り方検討会」が近く予定されていますが、これら学校がなくなれば寄地区の振興はおろか、過疎化に一層の拍車がかかることは十分想定されます。何としましても残したいものです。

古道の会として悩みもあります。令和4年4月1日現在会員は、14名で平均年齢は、72歳です。この平均年齢は毎年上がっていくばかりです。出来るだけ若い人たちの入会が望まれています。

(会長 山岸 榮市)



雄大な富士山に歓声を上げる生徒たち



わが市わが町 中井町

中井町は神奈川県南西部に位置し、東京都心から車で約1時間弱の距離にある緑豊かな町です。

起伏に富んだ大磯丘陵の一角にあって、北に丹沢山地、西には富士山を仰ぎみることができます。

また、南側に望む相模湾の影響を直接受けるため、冬暖かく、夏涼しい気候となっています。

町域の約3分の1にあたる679haが山林・林野であり、その約3分の2、476haが天然の広葉樹林です。92haある人工林にはスギ、ヒノキが植林されています。

中井町は豊かな自然環境を生かし、皆さんの暮らしを支える水道水源をすべて町内の地下水で賄ってお

り、ミネラル豊富な美味しい水を提供しております。

この地下水のかん養や浄化などの機能を果たす森林を維持するには、長期にわたる継続的な取り組みが必要です。

しかし、近年では担い手不足や木材需要の減少により、管理がされず荒廃し、本来有している多様な機能が損なわれています。町ではこの自然環境を将来にわたり維持・保全し後世に残していくため、平成19年度より水源の森林づくり事業として森林を整備しています。

これにより林内に光が差し、健全な森林が蘇りました。この事業も令和8年度には整備計画エリアの森

林整備が完了します。

また、竹林再生事業の一環として5月に巖島湿生公園で「竹灯籠の夕べ」という事業を平成18年度から開催しています。この事業は、竹林整備等で切り出した竹等を利用し、会場内に約3000個の竹灯籠を並べ、灯籠の火の揺らめき、水面に映る景色などが幻想的な雰囲気を出し、来場者を魅了します。

また、この時期には公園内でホテルが飛ぶ光景も見られ、自然を感じることが出来ます。

今後とも豊かな自然を維持・保全し公共性に富んだ住みやすい社会を形成していけたらと考えております。
(中井町産業振興課)



整備した森林



竹灯籠の夕べ



事務局便り

infomation

市町村林政
アドバイザー

～三年間を振り返って～

石鍋 聡

令和元年7月に神奈川県森林協会に市町村林政サポートセンターが開設され、私は当初から市町村林政アドバイザーとして、森林環境譲与税にかかる市町村支援業務に携わり、約3年が過ぎました。

神奈川県森林組合連合会からの出向契約が満了となり、この4月からは連合会に戻ることになります。業務支援に関わった、市町村、県、関係団体の皆様にはたいへんお世話になりました。



森林整備の現場調査（令和元年 愛川町）

アドバイザーとして、微力ではありますが、市町村の譲与税の取組みに少しは貢献できたかなと考えております。

以下、3年間を振り返って、印象に残ったことや、これからの譲与税の取組みについて、私見を述べてみたいと思います。

学校で林業を学び、連合会に就職して森林の資源量調査や境界測量を長期間にわたり担当し、木材生産を目的とした森林整備事業に従事してきた私にとって、林業の無い市町村

に対して、何をどのようにして支援していくのか、当初はとても不安でした。

譲与税の使途に適合する、緑地や樹林地の森林整備も人工林とは勝手が違い、危険木の伐採、伐採木の処

理、有効活用など、市街地に近接する森林の特有の課題について、現場に赴き、林業をベースとした知識を応用しながら対応する日々でした。

一方、譲与税の使途のひとつである木材利用については、支援、提案に私の職務経験を活かすことができました。

連合会には県内唯一の原木市場があり、木材生産を通して販売先とのやりとりを経験したことから、市町村からの木材価格や流通に関する相

談に対応することができました。

また、林業が行われている市町村からは地域の木材を使ってもらい、林業の活性化を図りたいという思いがある一方で、神奈川県は林業が盛んな県とは違い、木材生産量が少ないことから、木材利用に取り組みたいと考えている都市部の市町からは品質・数量・価格等の点から県産木材は使いづらいという意見が多く寄せられました。

そこで、サポートセンターでは地域の木材需給をマッチングさせるために、原木を生産している現場や市



場・製材所の視察研修会を開催し、県産木材がどのように流通し、供給されているのかを知っていただくことからスタートしました。

翌年は県産木材をPRするためのツールがほとんどない状態だったので、実際に工事を発注する市町村の営繕や施設管理を担当する部署に向けた「県産木材 GUIDEBOOK」を発刊し、県内のどこに、どのような製材品等があるのかや、地域の木材利



県内プレカット工場の視察
(令和元年 愛川町)

用の取組み事例、生産・流通・加工に関わる方々の想いなどを届けました。

なるべく気持ちが伝わるよう、自分たちで撮影した素材を使い、編集ソフトを導入して加工や入稿まで、手作りで協会一丸となって取り組んだ経験を、これからも役立てていきたいです。

3年目となる最後の年には、今後木材利用を進める参考として、公立の学校では全国3例目となる地域

の木材を利用した木造小学校の現場見学会を開催し、すでに学校の木質化に取り組む横浜、川崎などの都市部も併せて80名の市町村職員に参加していただきました。



川崎駅前 優しい木の広場での
「おだわら木の広場」かまぼこ積み木
(令和3年 川崎市)

さらに、譲与税の取組事例発表会では川崎市から木材利用推進に関する取組を紹介していただき、これを契機に林業が盛んな自治体で構成されている川崎市木材利用促進フォー



森林林業へのドローン活用研修
(令和2年 南足柄市)

ラムの行政部会への加入を望む県内市町村も現れ、川上と川下の連携が始まりつつあることを感じています。



これらの経験から、木材の大消費地である神奈川で、近くて遠い存在の県産木材を身近でたくさん使っていただけるよう、連合会に戻ってからは市町村による森林管理や木材利用を支援できる新たなサポーターとして活動していきたいと思います。

(石鍋 聡)

※市町村林政アドバイザー
森林環境譲与税に関する事業等に取り組む市町村に対して、森林整備や木材利用、普及啓発に関する支援を行っています。

広報誌 緑の斜面 VOL. 76 / 令和4年3月31日発行

編集・発行 神奈川県森林協会
住所 厚木市中町2丁目13番14号 サンシャインビル604
電話・FAX (046) 240-0500



HOME PAGE
<https://k-cr.com/>